

指導員研鑽会

2022/04/10(日) 富山県呉羽青少年自然の家

■プログラム① 出前県庁しごと談義 「地域で子どもを育てる」

講師：富山県教育委員会 生涯学習・文化財室
室長 吉田 学 氏

児童クラブ活動の主旨でもある「地域で子どもを育てる」と題して、県教育委員会の吉田室長に出前講座をお願いしました。富山県内の各自治体における活動の実態を聞き、私たち指導員がどのように関わり合いを持てばよいのかを考える良い機会になったと思います。

時間に余裕のある方は、ぜひ地元の小学校等に出向きその技能を発揮してみてください。



■プログラム② 実技 「メスティンで炊き込みご飯を作ろう」

指導：清水 保夫 認定指導員

最近のソロキャンプブームでは、昔ながらの兵式飯盒からメスティンと称される角型飯盒が汎用され、レシピ本も多数発行されています。今回は本格的なシーズンを前に、メスティンでの炊飯を試してみたいと思います。



■プログラム③ 実技 「ソロキャンプ用テントの設営」

県児ク連では少人数用の小型テントを3種類5張り購入しました。

大型テントでの設営実習において、傍観者(?)が散見されておりましたので、“自分の住まいは自分で”の精神で行こうと考えて小型テントを用意しました（コロナ禍対応も兼ねています）。

説明書を見ながら設営＆撤収の要領をつかみたいと思います。



指導員研鑽会

2021/04/04(日) 富山県呉羽青少年自然の家

■プログラム 「洪水ハザードマップ」を知ろう

講師: 富山市役所 河川課職員の方々

令和2年度に全国の「洪水ハザードマップ」が更新されました。

参加会員の居住地の最新版のハザードマップを準備しましたので、その見方、使い方を習って
地元の危険な箇所を知るとともに自分たちができる対応策を考える機会にしたいと思います。



河川の氾濫による災害を未然に防ぐため、わたしたちは綿密な計画に基づいて河川整備をおこなっています。しかし、河川整備の限界を越えた洪水に見舞われた場合、被害を最小限にとどめるためには、みなさんの洪水に対する知識や日頃の心構えが重要になります。「洪水ハザードマップ」とは、災害時に必要な情報を盛り込んだ、みなさんのための災害マニュアルとして役立ちます。〔講師談〕

2015年2月に水防法が改正され、河川や高潮について、「1000年に一度」クラスの最大規模を示すようにとされました。今回更新されたハザードマップは「1000年に一度」クラスのハザードを想定した図が掲載されています。何をもって1000年に一度なのかよく理解できないところですが、「超最大級」を表していることには間違いはなさそう。でもその1000年に一度が毎年訪れる可能性があることも忘れてはなりません。



指導員研鑽会

2020/06/28(日) 富山県呉羽青少年自然の家

■プログラム 「野外活動の最新情報と野外料理アラカルトⅡ」

指導：県児ク連認定指導員 島川幸重・清水保夫

コロナ禍の影響で開催が遅れましたが、野外活動で役立つ最新情報を集めてみました。
丸太を使ったスウェーデントーチやロケットストーブ、新聞紙で作った薪を紹介します。
また、これらを使って「ジップロック・クッキング」にもチャレンジします。

●スウェーデントーチ



乾燥した丸太の芯部分と側面にドリルで穴をあけた後、チェーンソーで十文字に切れ込みを入れたものです。
樹種や大きさで燃焼時間は異なりますが、1時間以上は燃えるようです。
調理用の熱源だけでなく、焚火として班別の「ボンファイヤー」に活用できそうですネ。楽しみです。

●ロケットストーブ

二次燃焼によって少ない燃料で高温燃焼が可能なストーブです。
20ℓ ペール缶の本体に SUS の煙突を取り付けて作ってみました。
穴あけ作業には若干苦勞しましたが、何とか完成しました。
興味をお持ちの方には設計図と道具をお貸しします。
ストーブと言っても暖房専用ではありません。ちゃんと調理にも使用できるのです。



●新聞紙の薪

警視庁災害対策課の「防災ヒント」として紹介されていたものです。
引き裂いた新聞紙を水に浸し、棒状のモノに巻き付けて水分を絞り取って乾燥します（これで完成）。
棒を引き抜いた穴が程よく燃焼を助け、火持ちも悪くないみたいです。
古新聞を資源回収に出さずに薪の大量生産を試みては…。



●野外料理アラカルト（第2弾）

ジップロックに食材と調味料等を入れ、沸騰した湯に漬け込むだけで簡単に調理ができます。
一番の利点は「焦げない」こと、小さな子どもたちでも失敗の少ない調理方法です。
（火傷等のリスクは変わりませんが…。）
今回はジップロック・パスタの他に、おかずとしてオムレツも作りました。

指導員研鑽会

2019/04/07(日) 富山県呉羽青少年自然の家

■プログラム① 「災害に備えて ～日頃の心構え～」

講演：富山県防災士会 上田 司穂 先生

富山県は自然災害の発生が比較的少なく、「安全で安心な県」として評価(?)されていますが、近年、日本各地で地震・台風・豪雨等の自然災害が頻発しており、私たちもいつ災害に遭遇するか分かりません。日頃から「防災・減災」を考え、落ち着いて行動できる育成者になることを期待します。

今回の学び（まとめ）

- ① グラツきたら **身の安全**
- ② 寝ている間の **安全確保**
- ③ もしものための **非常持出**



■プログラム② 実技 「野外料理アラカルト」

指導：清水保夫 県児ク連認定指導員 他

ジップロックの袋の中に食材と調味料等を入れ、沸騰した湯に漬け込むだけで簡単に調理することができる。これが「ジップロック・クッキング」です。

「ふるさと再発見」では火勢が強すぎて、袋が溶けて失敗した班もありましたが、指導者にはこの調理法を習熟し、今後の防災活動にも活用できるようにしてほしいと思っています。今回はジップロックライスで五平餅づくりにチャレンジし、ダッジオーブンでカステラを焼き、燻製づくりも体験しました。



指導員研鑽会

2018/04/08(日) 富山県呉羽青少年自然の家

■プログラム① 「子ども会の減災防災活動を考える」

指導: 兵庫県子連 事務局長 浅見 真一 先生

子供の「生きる力」を涵養することは児童クラブの大きな使命です。

自然災害の発生が比較的少ないために災害に無頓着な人が多い富山県ですが、今後は子どもたちに様々な機会を作って災害対応力を高める活動を実施したいと思っています。

今回は神戸大震災を自ら体験された浅見氏に「子ども会」でできる防災減災活動について学びました。

児童クラブ活動でできる防災減災は？

- ① 家族間の安否確認の方法
- ② 家庭内の危険個所の発見
- ③ 地域の中での安全確保(防災街あるき)



■プログラム② 実技 「ランタンづくりに挑戦」

指導: 宮井利一 県児ク連認定指導員

家屋の内装工事を生業とされている宮井指導員は、当連合会のおもちゃ作りのクラフトだけでなく、多方面で子どもたちに経験体験の場を提供されています。

今回はゴム風船に和紙を貼り付けて球体の形とするランタンづくりを習い、電灯で浮かぶ美しい模様を楽しみました。



指導員研鑽会

2017/04/09(日) 富山県呉羽青少年自然の家

■プログラム① 実技「やさしいマジック」

高岡ハートマジッククラブ代表 進藤 進 先生



ー引き裂いた新聞紙が… あら不思議、元通りに !!ー

《進藤先生のプロフィール》

平成7年以來20年間にわたり、社会福祉施設や児童クラブ、老人クラブ等においてマジックを披露するなど、きめ細かなボランティア活動を積極的に展開され、地域福祉の向上に努められことにより、平成26年に富山県功労賞を受賞されている。



ー進藤先生ー



■プログラム② 実技「ピザづくり」

指導： 呉少自専門指導員



▲砂糖を溶かしたぬるま湯にイーストを入れ…



▲ひたすらコネコネ…



▲4等分して延ばしま



👉トッピング材料を準備します。

美味しいピザの出来上がり!!



▲ガス抜きも忘れずに

※かまどの温度は300～350℃に保ちます。👉ピザは約5分間で焼きあがります。



ピザソースを塗って野菜とソーセージをのせます。👉



指導員研鑽会

2016/04/03(日) 富山県呉羽青少年自然の家

■プログラム① 講演「子どもの“生きる力”を育む」

富山福祉短期大学・社会福祉学科長 竹ノ山 圭二郎 教授



ー竹ノ山先生ー



《ご講演の内容》

- ① リーダーの役割は功績を認めること
- ② あなたはOK、私もOK
- ③ 児童期は他者比較の時代 自尊心を育てよう
- ④ 共感性を育むには 多様な経験と読書
- ⑤ 失敗することを奨励する
- ⑥ 評価は加点方式 プロセスを評価
- ⑦ 選ぶ力を身につける
- ⑧ 罰よりも、説明と納得を
- ⑨ 受容とは 居場所づくり
- ⑩ 主体変容 自分自身がまず実践を



■プログラム② 実技「ペットボトルロケットの製作」

指導： 前手政幸指導員 犬田 優指導員 袴谷 修指導員



機体は一直線に…



このカッコイイ雄姿を見よ!!



ポンピングは20回位？



尾翼が一番大事です



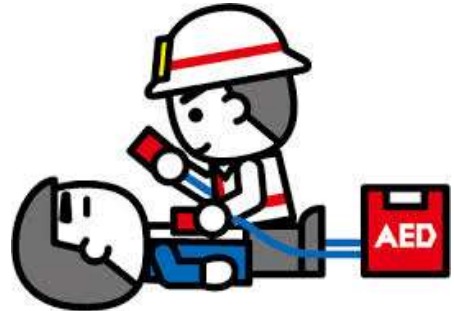
はるか彼方へ(本日の行方不明は2機)

指導員研鑽会

2015/04/05(日) 富山県総合福祉会館(サンシップとやま)

■ 普通救命講習会〈参加者31名〉

▼大丈夫ですか？
大丈夫ですか？



▼あなたは119番に連絡してください。



▼救急救命士、指導員、普及員の方々から
AEDの使用方法を習いました。



▼救急車が来るま
で、
1・2・3・4・5……



▼顎先を指で持ち上げて、気道確保！



▼AEDの準備ができるまで、
胸骨圧迫は続けます。

👉 真剣な眼差しで、
心肺蘇生を学習中。



呼吸が確認できたら、
このように体位変換を。👉

☆これでイザ！という時も
大丈夫(かな)。



指導員研鑽会

2014/04/06(日) 富山県呉羽青少年自然の家

■プログラム① 自然観察 —バードウォッチング入門—



↑ 熱心に聴講する参加者の皆さん

《参考資料》

- ・ひと目でわかる野鳥 / 成美堂出版
- ・鳥のおもしろ私生活 / 主婦と生活社
- ・日本野鳥の会リーフレット



←ナチュラリストの
山下真佐子先生
自然観察の楽しさをお話して頂きました



■プログラム② うどんづくり



←水の分量を間違えないでヨ。



←オ～左利き。でも上手。



↑ 広く延ばして、厚さは約4ミリに。



↑ ゆで加減はどう？



↑ ウマイ。味は最高～!!